

■ 委員長報告概要 ■

	令和 3 年 6 月 定例会
	総務文教常任委員会
議 案 件 名	議案第 49 号 山陽小野田市庁舎建設整備基金条例の制定について
概 要	新庁舎の建設を見据え、これに特化した基金を設置するもの
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>* 現在、長寿命化を図っている本庁舎を 20 年後に仮に現地で建て替えた場合の総事業費を約 50 億円と見込むと、約 20 億円程度の基金が必要なため、毎年度 1 億円を積み立てる設定としている。</p> <p>* 他の特定目的基金と同様、年度間の収支調整のために繰替運用を行うことができる規定を設けている。</p>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 50 号 山陽小野田市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について
概 要	関係政令が改正され、審査申出書と口述書への押印の義務づけが廃止されたことに伴う所要の改正
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>* 行政不服審査法施行令の改正に伴う改正である。</p> <p>* 水道と病院も含めて 1,972 の事業のうち押印廃止は 1,758 事業で、全体の 89.1%となっており、4 月から原則的に押印を廃止している。</p>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 51 号 山陽小野田市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について
概 要	新たに市の職員となった者が提出する宣誓書への押印の義務づけを廃止するもの
論点又は質疑 によって明らか になった事項	質疑なし
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	承認第 4 号 山陽小野田市税条例等の一部改正に関する専決処分について
概 要	地方税法等において、固定資産税の土地に係る負担調整措置の現行の仕組みの継続、住宅借入金等特別税額控除の一定の場合における適用期限の延長、軽自動車税環境性能割の臨時的軽減の延長などが措置されたことに伴う所要の改正
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> * 土地の負担調整措置の仕組みを令和 3 年度から令和 5 年度まで継続する。 * 令和 3 年度に限り、負担調整措置等により税額が増加する土地について、前年度の税額に据え置く。 * 浸水被害防止のために整備される雨水貯留浸透施設に係る課税標準の特例措置を創設する。 * 住宅借入金特別税控除の適用期限を、一定の期間に契約した場合、令和 17 年度分の個人市民税まで延長する。 * 軽自動車税環境性能割の税率を 1%分軽減する特例措置を 9 か月延長し、令和 3 年 12 月 31 日までに取得したものを対象とする。また、税率の適用区分を新たな燃費基準の下で見直す。 * 給与所得者又は公的年金受給者の扶養親族申告書と退職所得申告書の電子提出に係る税務署長の承認が廃止される。 * 固定資産税の影響額は 140 万円から 150 万円を見込んでいる。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で承認

議 案 件 名	承認第 5 号 山陽小野田市都市計画税条例の一部改正に関する専決処分について
概 要	都市計画税の土地に係る負担調整措置の現行の仕組みの継続が措置されたことに伴う所要の改正
論点又は質疑 によって明らか になった事項	* 土地の負担調整措置について、令和 3 年度から令和 5 年度まで、価格の下落修正を行うなどの仕組みを継続する。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で承認

■ 委員長報告概要 ■

		令和 3 年 6 月定例会
		民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第 47 号 令和 3 年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算（第 2 回）について	
概 要	今回の補正は、歳入歳出ともに 188 万 3,000 円を追加し、予算総額を 65 億 7,683 万 8,000 円とするもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>【歳入】 支払基金交付金を 491 万 8,000 円増額し、繰入金 303 万 5,000 円を減額。</p> <p>【歳出】 令和 2 年度診療報酬支払基金交付金の精算に伴う償還金 188 万 3,000 円の増額。</p>	
討 論	討論なし	
結 果	全員賛成で可決	

		令和 3 年 6 月定例会
		民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第 52 号 山陽小野田市立サッカー交流公園条例の一部を改正する条例の制定について	
概 要	令和 3 年 4 月に本市の施設となったサッカー交流公園の令和 4 年度以降の運営方法として、指定管理者制度を導入できるよう所要の改正を行うもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>* 指定管理者が行う業務は、当該公園の使用許可、維持管理その他市長が必要と認める業務である。</p> <p>* 利用料金は、条例に定める額の範囲内で指定管理者が定め、その者の収入とする。</p> <p>* 現在、業務発注仕様書を施設の設置目的に沿って作成中で、指定期間も検討中である。</p> <p>* 今後のスケジュールは、当該仕様書を作成後、8 月頃に指定管理者の公募を考えている。</p>	
討 論	討論なし	
結 果	全員賛成で可決	

令和3年6月定例会

民生福祉常任委員会

議案件名	議案第53号 山陽小野田市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について
概要	厚狭駅南部地区に建設中の保育所の名称等を定めるとともに、下津保育園、津布田保育園、出合保育園の3園を閉園する所要の改正を行うもの
論点又は質疑によって明らかになった事項	<p>*令和3年1月に保育所の名称を募集した結果、109人から160件の応募があり、最多は「ねたろう保育園」の40件であった。応募方法は、6つの名称案を示し、自由記入欄も設けた応募用紙を再編対象の地域と園児の保護者に配布し、郵送や持参等により提出を受けた。</p> <p>*ねたろう保育園の定員は、廃止する3つの保育所の過去5年間の平均児童数や想定される待機児童数等を考慮して、140人としている。</p>
討論	討論なし
結果	全員賛成で可決

令和3年6月定例会

民生福祉常任委員会

議案件名	議案第55号 山陽小野田市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
概要	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が一部改正され、本市の歳入金として徴収している個人番号カードの再交付手数料は、令和3年9月1日以降、地方公共団体情報システム機構(J-LIS)がその額を定め、徴収することとなった。これに伴い、本市の手数料徴収条例から当該手数料に関する部分を削除する等の所要の改正を行うもの
論点又は質疑によって明らかになった事項	<p>*施行日以降は、歳計現金でなく、歳入歳出外現金として市が一時保管し、J-LISに納入することになる。</p> <p>*個人番号カードの再交付理由は、カードの損傷、追記欄の満欄、有効期限の満了等である。</p>
討論	討論なし
結果	全員賛成で可決

■ 委員長報告概要 ■

		令和 3 年 6 月定例会
		一般会計予算決算常任委員会
議 案 件 名	議案第 46 号 令和 3 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 4 回）について	
概 要	今回の補正は、経常的経費を中心に編成した当初予算に政策的事業、新規事業などの予算を追加するもので、歳入歳出それぞれ 8 億 209 万 2,000 円を追加し、予算総額を 300 億 8,026 万 9,000 円とするもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>*【防災気象情報システム導入事業】</p> <p>・「河川カメラと簡易水位計の設置は、国・県の補助事業の対象にならないのか」との質問に「災害対策を急ぐため、市単独で実施する」との答弁。</p> <p>*【空家等の適正管理の補助事業】</p> <p>・「マッチング業務まで市が行うとのことであるが、職員配置はどうか」との質問に「契約等は専門業者に任せるので、新たな職員配置はないと考えている」との答弁。</p>	
討 論	反対討論あり	
結 果	賛成多数で可決	

議 案 件 名	議案第 54 号 令和 3 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 5 回）について	
概 要	今回の補正は、ひとり親世帯を除く低所得の子育て世帯に支給する子育て世帯生活支援特別給付金などの予算を追加するもので、歳入歳出それぞれ 5,767 万円を追加し、予算総額を 301 億 3,793 万 9,000 円とするもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	*子育て世帯生活支援特別給付金の支給額は児童一人当たり 5 万円で、本市の対象児童数は約 1,000 人。	
討 論	討論なし	
結 果	全員賛成で可決	

令和3年6月定例会

一般会計予算決算常任委員会

議 案 件 名	承認第3号 令和3年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）に関する専決処分について
概 要	今回の補正は、低所得のひとり親子育て世帯に支給する子育て世帯生活支援特別給付金などの予算を追加するもの。早急な予算措置が必要であったため、令和3年4月1日に専決処分され、歳入歳出それぞれ5,804万3,000円を追加し、予算総額は292億7,817万7,000円となっている。
論点又は質疑 によって明らか になった事項	*子育て世帯生活支援特別給付金の支給額は児童一人当たり5万円で、児童扶養手当受給者は申請を行う必要がなく、受給を断る届出もなかったため、4月28日に562件、5月13日に2件の合計564件、額にして4,490万円が対象者の口座に振り込まれた。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で承認